

平成28年度 姫路市安室地域包括支援センター

事業計画書（案）

平成27年度介護保険制度改正により、介護予防サービスのうち介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、平成29年までに全ての市町で実施することとなった。姫路市では、平成29年4月1日から総合事業を実施することとなっている。今年度はそれまでの移行期間となるため、常に情報収集に努め、高齢者が不安にならないよう対応していく必要がある。

また、姫路市では平成27年度中に新たに認知症担当職員を市内全包括で配置となり、当事業所では平成28年3月に配置となった。本格的には今年度からの活動となり、職種が増えることで地域との連携をさらに強化していきたい。

<総合目標>

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民が、共に支える地域づくりの必要性を理解し、主体となって取り組める意欲が持てる環境を整える。

1. 運営に係る業務

- (1) 課題：新たな職種配置によるチームの再編により、連携弱体化の恐れがある。
- (2) 目標：研修で得た知識や技術をチームで共有し、実践力の向上を図る。
- (3) 具体的支援（活動内容）
 - ・職員の研修計画をたて、各個人が足りていない分野を中心に積極的に研修を受け、その内容をその他の職員への伝達の機会を持ち、情報の共有化を目指す。
 - ・各職種の専門性を理解し、問題解決に向けてチームで取り組む体制の見直し、強化を図る。

2. 総合相談・支援業務

- (1) 課題：相談支援業務が個別の問題のみとなりがちで、地域支えあい会議につながりにくい。
- (2) 目標：個別の問題としてのみではなく、地域課題の分析・検討ができる。
- (3) 具体的支援（活動内容）
 - ・地域支えあい会議を通して、個別ケースの検討と共に、地域課題としても捉える視点を持ち、地域住民の参加を促す。
 - ・2ヶ月毎に活動報告を作成し、自治会長・老人会長・民生委員児童委員等の訪問継

続し、支援を必要としている方の情報を収集し、迅速に支援できる体制をとる。

- ・ 各種サロンや地域住民の集まりに参画し、地域との交流の機会を増やすことでニーズを把握し、地域住民と協働し、問題解決へ繋げる。
- ・ 年4回の地域包括支援センターだよりの発行を継続し、回覧、地域住民の関心を啓発する。

3. 権利擁護業務

- (1) 課題：地域で支えあう為の家族・地域住民同士の権利意識が低いところがあり、虐待や権利擁護への認識不足から対応遅れにつながる恐れがある。
- (2) 目標：権利擁護や虐待防止への理解を深め、通報等、支援力の強化を図る。
- (3) 具体的支援（活動内容）
 - ・ 権利擁護事業に関する研修には、社会福祉士のみではなく他職種も参加し、知識・技術の向上を図る
 - ・ 通常支援だけでは十分な問題解決ができず、困難な状況にある高齢者に対しては、成年後見制度・高齢者虐待防止・消費者被害防止等に関する諸制度等を活用し、関係機関へつないでいく。
 - ・ 自治会の会合の場、認知症サロン、民生委員児童委員・推進協力委員の研修会、公民館市民講座や介護予防教室等で権利擁護事業の周知・PRを実施する。
 - ・ 緊急性を要する虐待事例においては、対応マニュアルに基づいた対策を行政への通報、協力を仰ぎ連携し、検討していく。
 - ・ 社会福祉士（権利擁護事業に強い居宅介護支援事業所等）、司法書士、弁護士等の専門職種のネットワークを構築する。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- (1) 課題：包括的・継続的ケアマネジメントの実践が可能な環境整備や介護支援専門員へのサポート力が弱い。
- (2) 目標：多様な生活課題を抱えている高齢者が安心して、その人らしい生活を継続するために、地域の介護支援専門員が途切れることなく一貫して支援できるような体制を整える。
- (3) 具体的支援（活動内容）
 - ・ 包括的・継続的ケアマネジメント研修を年間4回、対人援助技術・ケアプラン作成技術の向上等を目的に行い、介護支援専門員同士の情報交換・交流の場となり、気軽に相談できるネットワーク作りの強化をはかっていく。
 - ・ 地域の主任介護支援専門員と協働し、活動できる仕組みを作る。
 - ・ 社会福祉士が中心となり、地域の社会資源の情報を把握し、いつでも新鮮な社会資源情報を提供できる環境を整える。
 - ・ 介護保険サービスのみでは支援困難なケースも増えていることから、本人や家族の

自己決定に基づき支援しているケアマネが抱えている問題も地域課題として捉え、適切に地域支えあい会議を開催し、課題解決に有効と思われる社会資源を整備していく。

5. 介護予防ケアマネジメント事業

- (1) 課題：地域住民の介護予防知識・関心は向上しつつあるも地域差・個人差がある。
- (2) 目標：地域住民が介護予防に関心を持ち、自主的・継続的に介護予防に取り組むことができる。
- (3) 具体的支援（活動内容）
 - ・安室公民館で「公民館の保健室」を今年度も共催し、地域住民に顔の見える関係性作りを継続し、認知症予防や介護予防に対する啓発を行う。
 - ・いきいき百歳体操や老人会、各種サロンに参加し、介護予防啓発を行う。
 - ・介護予防啓発を行うことで、いきいき百歳体操会場・認知症サロンを増やす。
 - ・介護支援ボランティア事業（あんしんサポーター）を活用し、地域の助け合い活動の活性化および社会参加活動を通じた高齢者自身の介護予防を推進する。
 - ・各教室や高齢者の集まりで健康チェックや健康相談を行い、健康促進を目指す。

6. 年間活動計画について

4月	田寺山手町ふれあい喫茶、維持期病院連絡会議、ふれあいサロン安室 いきいき百歳体操確認と指導、オレンジカフェ山田 安室公民館健康教室「公民館の保健室」
5月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあいサロン安室、オレンジカフェ山田 いきいき百歳体操確認と指導、安室公民館健康教室「公民館の保健室」
6月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあいサロン安室、いきいき百歳体操確認と指導 オレンジカフェ山田、安室公民館健康教室「公民館の保健室」
7月	田寺山手町ふれあい喫茶、いきいき百歳体操確認と指導、オレンジカフェ山田 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、維持期病院連絡会議 ふれあいサロン安室、中部第2ブロックケアマネ研修
8月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあい祭り安室東、ふれあいサロン安室 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、オレンジカフェ山田 いきいき百歳体操確認と指導
9月	田寺山手町ふれあい喫茶、御立山田敬老会、前山敬老会、オレンジカフェ山田 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、いきいき百歳体操確認と指導 あんしんサポーター茶話会、ふれあいサロン安室 中部第2ブロックケアマネ研修
10月	田寺山手町ふれあい喫茶、維持期病院連絡会議、ふれあいサロン安室 いきいき百歳体操確認と指導、オレンジカフェ山田

	安室公民館健康教室「公民館の保健室」
11月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあいサロン安室、いきいき百歳体操確認と指導 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、オレンジカフェ山田、ふれあいの集い
12月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあいサロン安室、いきいき百歳体操確認と指導 オレンジカフェ山田、安室公民館健康教室「公民館の保健室」 中部第2ブロックケアマネ研修
1月	田寺山手町ふれあい喫茶、維持期病院連絡会議、ふれあいサロン安室 いきいき百歳体操確認と指導、安室公民館健康教室「公民館の保健室」
2月	田寺山手町ふれあい喫茶、ふれあいの集い、ふれあいサロン安室 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、オレンジカフェ山田 いきいき百歳体操確認と指導、中部第2ブロックケアマネ研修
3月	田寺山手町ふれあい喫茶、いきいき百歳体操確認と指導、ふれあいサロン安室 安室公民館健康教室「公民館の保健室」、あんしんサポーターの茶話会 オレンジカフェ山田

7. 年間収入について（総収入）

（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
H27 年度実績	2,036	2,049	2,033	2,071	2,072	2,088	12,349
H28 年度予想	2,497	2,498	2,497	2,498	2,500	2,500	14,990
前年度差異	461	449	464	427	428	412	2,641
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27 年度実績	2,114	2,105	2,081	2,121	2,158	2,120	25,048
H28 年度予想	2,500	2,499	2,499	2,504	2,502	2,502	29,996
前年度差異	386	394	418	383	344	382	4,948

* 姫路市委託料:20,000,000(年間) 1ヶ月あたり:1,666,666

プラン作成件数（自前プラン）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
H27 年度実績	159	159	157	164	165	170	974
H28 年度予想	175	176	176	177	178	178	1,060
前年度差異	16	17	19	13	13	8	86
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27 年度実績	174	174	170	175	175	175	2,017
H28 年度予想	179	180	180	179	179	178	2,135
前年度差異	5	6	10	4	4	3	118

※H27 年度 2・3月は予想